

■R2年度 地域版まちづくり総合戦略事業補助金 事業一覧

令和3年3月末現在 (単位:円)

	補助事業名	地区	団体名	事業名	事業内容	成果	事業費	交付確定額
1	戦略推進事業	朝日	朝日おどりを愛する会	歌って踊ってふるさと朝日創生事業	<p>【朝日の歌と踊り制作】中央小学校創立25周年の記念の年に、朝日地区の歌「朝日音頭」「わがまち朝日」と踊りを制作。</p> <p>【披露・周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動ネットフェスタで披露(9月) ・CDを作成して関係機関へ配布 ・ポスター・チラシ及び屋外スピーカーによる周知 	<p>○子どもから大人まで一緒に楽しめる2曲が完成。</p> <p>○朝日は歴史的には新しい町であるが、新たに移り住んだ方や地域で育つ次世代の子ども達に、ふるさと朝日を感じてもらおうシンボルとなるよう、歌と踊りを活用していく機運が高まった。</p> <p>○今後、練習や披露を通じ住民同士の交流を深める一助となる。</p>	800,000	800,000
2	戦略推進事業	持田	持田地域まちづくり総合戦略実行委員会	地域版まちづくり総合戦略事業	<p>【北山山系の魅力づくり】松江の観光客が延泊してでも訪れたいくなるような北山山系の魅力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松江北山眺望所整備及び案内板設置 <p>【北山を活用した活動実施】</p> <p>鳥根大学の学生を取り込み若者を交えた活動実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生農業体験村開設 ・松江北山登山駅伝(10月) ・ヒルクライム松江北山(11月) 	<p>○持田地域を訪れる人が増加。(「北山花図鑑」や「縦走マップ」を求める人が多くなった。)</p> <p>○持田地域の古民家に住む学生が増加(5組16人)。</p> <p>○学生を巻き込んだ活動でまちづくりが活性化。小学生の居場所づくりやヒルクライムの運営へ学生が積極的に参加するようになる等、繋がりが深まった。</p>	900,000	710,000
3	戦略推進事業	美保関	里山仕事を楽しむ会	里山仕事の勉強会～森づくり～	<p>森づくりの技術と知識を専門のアドバイザーから習得し、美保関の自然と地域が共生する姿を後世に伝える。</p> <p>【地域住民による里山仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアによる下刈り(7～10月) ・薪づくり(11月) ・除伐材で椎茸づくり(12月) <p>【森づくり研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会を実施(3月) 	<p>○今回の研修会をきっかけに下刈り参加者が8人増加。さらに家族連れがみどり山に集まり、里山を遊びやりフレッシュに活用できる地域資源として再認識できるようになった。</p> <p>○正しい機具の使い方を習得することで、地元住民に、自分達の山は自分達で守るという意識が芽生えた。</p>	139,817	129,360
4	戦略推進事業	島根	島根地域まちづくり協議会	楽しく学び合う文化と伝統の薫るまちづくり「伝承地名の調査研究」	<p>【伝承地名の調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根町地域の伝承地名を、文献や現地調査により詳細に把握。 ・島根町全域(大芦地区、加賀地区、野波地区)の伝承地名を書き加えた地図が完成。 	<p>○島根町山側に「潮掛松(しおかけまち)＝過去にここまで津波が来たと推定される」地名が残っており、防災に伝承地名が役立つことが認識できた。</p> <p>○伝承地名を把握している高齢者が少なくなり、このタイミングで話を聞いたことは貴重であった。</p> <p>○ヒアリングに応じた方は土地の由来を語ることで故郷への愛着が深まり、ぜひ次世代へ引き継ぎたいという思いが強まったようであった。</p>	80,500	80,500
	戦略推進事業		大芦さくらの会	大芦の里・山桜保全事業	<p>【山桜の保全】大芦地域に自生する山桜の保全育成を図るため、障害木の伐採、下枝の剪定、下草刈りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員による下刈り(10月) ・急傾斜地は業者による下刈り(10月) <p>【大芦の里の眺望スポット整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山桜の説明看板2基を設置(11月) 	<p>○地域の環境を自分たちで守る活動を形にしたことで大きな自信となった。</p> <p>○山桜の自生環境と鑑賞環境の改善にあたり、関係者と協議することで連帯感が高まった。</p> <p>○島根半島から日本海等を望む観光ゾーンの目玉スポットを整備したことで「山桜の里づくり」を進めるきっかけとなった。</p>	693,346	692,000

■R2年度 地域版まちづくり総合戦略事業補助金 事業一覧

令和3年3月末現在 (単位:円)

補助事業名	地区	団体名	事業名	事業内容	成果	事業費	交付確定額
5 戦略推進事業	宍道	手作りカヌーの会『あめんぼう』	カヤックで宍道湖ツアー事業	<p>【カヌー準備】</p> <p>①ふるさと森林公園保有のカヌー修理</p> <p>②宍道町の個人所有カヌーの修理 (3艇)</p> <p>③シーカヤックの制作 (2艇)</p> <p>【モニターツアー】</p> <p>3月14日、20日に2日間 開催</p>	<p>○カヌー2艇の修理が完了し、ふるさと森林公園のオプションツアーとして令和3年度から開始。</p> <p>○住民による修理作業は見学者にもカヌーに興味をもってもらえるきっかけとなった。</p> <p>○モニターツアーやビジネスコンテスト参加により、若者や家族連れに活動を認知し興味をもってもらうことができた。</p>	141,407	134,000
		宍道プレスルーム	#宍道エール事業 (テイクアウト&情報発信応援事業)	<p>【チラシ作成・配布】 宍道町内の飲食店15店について、テイクアウトを掲載したチラシを作成。(チラシを自治会配布、新聞折り込みで地域に配布。)</p> <p>【SNS配信】 参加店舗についてInstagramなどで配信。</p> <p>【Youtube配信】 PR番組を3本撮影・公開</p> <p>【アンケート実施】 事業実施の効果を検証</p>	<p>○SNS投稿に対する反響が多く寄せられた。新聞やテレビの取材もあり反響が大きかった。</p> <p>○アンケート結果によると、デリバリー数の向上店舗が5店舗あった。</p> <p>○SNSへの反響は多かったものの、利用への波及が少なかったため、今後は宍道町へ人が訪れるきっかけを作れるよう取り組んでいく。</p>	474,227	464,061
6 戦略推進事業	八東	マカナ大根島	SNSを利用した大根島魅力発掘・発信事業	<p>【SNS講習】 SNS情報発信に関する講座を、地域の事業者、観光協会、公民館等が共に受講し、八東地域の人材や活動をアピールするコツを学んだ。</p> <p>【イベント (まんなかマーケット) 開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習を活用しマーケットを開催 (11月) ・SNSによるイベント告知 ・来場者へ、観光スポットや商品の紹介などを継続的に発信。 	<p>○フェイスブック投稿リーチ数: 約2倍(昨年比)。</p> <p>フェイスブックシェア数: 10件増(昨年比)。</p> <p>○マーケットは、①屋外である、②子どもが走り回れる芝生広場や遊具がある、③大人が楽しむ食事や催しがある等、コロナ禍ならではの楽しみ方にマッチしたイベントとなり、家族連れの来場者が多かった。</p> <p>○今後も島の様子や雰囲気に関するSNS投稿を継続し、イベント参加だけでなく滞在や居住を見据えた情報発信をしていく足掛かりとなった。</p>	246,394	237,394
共創・協働事業		しまねLINK	Happiness on Paletteプロジェクト	<p>島根大学の学生が中心となり、島根町沿岸部の清掃活動を実施。また海ゴミを使ったアート制作及び展示を行い、SDGsや海を豊かさの情報発信を行った。</p> <p>【漂着ごみの清掃】 約20回</p> <p>【地域団体との交流】 3回 (地元のゴミ拾い、地域活動団体との交流)</p> <p>【小中学校出張講座】 4回 (美保関小学校、佐太小学校、島根小学校 各4年生)</p> <p>【ごみアート作品】 25作品</p> <p>【イベント】 令和3年3月28 (日) 海ごみアート作品展示、ワークショップ180名参加</p>	<p>○地元と学生団体が交流することで、地域では地元の価値を再認識する機会となり、学生にとっては島根町の魅力に気づききっかけとなった。</p> <p>○清掃活動やイベント参加者の半数以上は町外の方であり、島根町のことを知り、SDGsについて楽しく考えることができたとの感想があった。</p> <p>○制作した作品は今後も展示を行うことができ、継続して海の豊かさや個性の残る町の美しさを発信していくきっかけとなった。</p>	511,779	500,000
合 計						3,987,470	3,747,315